

<参考資料 アクテオシドってなに?>

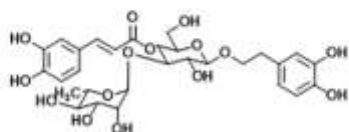
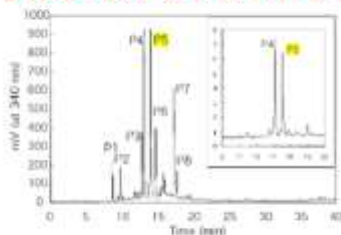
2023年10月16日(株)わだまんサイエンス

1:ポリフェノールの1つです。

2:強い抗酸化力が特徴です

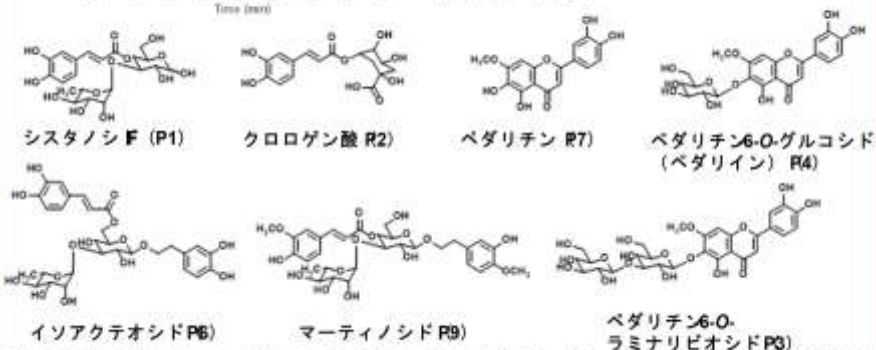
■胡麻若葉には8つのポリフェノールが含まれています

その1つがアクテオシドです



アクテオシド (R5)

アクテオシドはフェニルエタノイド類に属するポリフェノールです



胡麻若葉に含まれるポリフェノール: 参考資料: Fuji, Y., Uchida, A., Fukuhori, K., Chino, M., Matsufuji, H. *PLoS One*, 13 (3): e019449 (2018)

◆アクテオシドの抗酸化力はレスベラトールの5倍
ビタミンCの5倍

アクテオシドは、ポリフェノールの中でも、飛び抜けた働きをもっていると言われています。

一時期、話題になった、レスベラトール(ドウ・ポリフェノール)と比較して15倍、ビタミンCと比較して5倍の抗酸化力が報告されています。(in Vitro)



参考資料: 2005.03.25日経メディカル:オリーブの実に含まれる成分に強い抗酸化力があるポリフェノールがサプリメントと美容液に配合
<https://medical.nikkeibp.co.jp/ntc/all/hotnews/archives/366756.html>
:フードスタイル21.VOII2.NO1(2008)カンカエキスの新たな健康機能より

3:胡麻若葉にどのくらい含まれているの?

4:なぜ注目されているの?

オリーブ果実0.48%
チョコログ0.8%
地黄0.002%~0.08%
ニクジュヨウ 0.48~2.11%含有
カンカニクジュヨウ 0.86~2.54%
胡麻若葉末平均1.2%
(産地・年度別0.13~4.86%)

他の天然薬用植物と比較しても、胡麻若葉はアクテオシドが高含有であることがわかりました

参考資料: *Medicinal Plant Research*, 11, 206-212 (2006). 渡辺ら, 特開2006-193795(公報)
: アキニシに由来するポリフェノール化合物の抽出と作用機序 薬学雑誌119(12):1902-905, (1999)
: アキニシニ由来するポリフェノール化合物の抽出と作用機序: アキニシのポリフェノール化合物の抽出と作用機序
Fuji, Y., Uchida, A., Fukuhori, K., Chino, M., Matsufuji, H. *PLoS One*, 13 (3): e019449 (2018)
: 西辺純, 橋岡啓一, 岡々江浩太, 有賀敏明, 戸邊光一郎, アクテオシドの生物活性
http://www.stokkyu.com/2011/07/11/20110711_01.html (2011.07.11)
: Fuji, Y., Uchida, A., Fukuhori, K., Chino, M., Matsufuji, H. *PLoS One*, 13 (3): e019449 (2018)
: Ishiyama, K., Kuroki, T., Ohtani, H., Georgiev, L., Yoshizawa, T. *Journal of Agricultural and Food Chemistry*, 2014, 62(26): 1066-1076

最近では抗酸化、抗炎症、抗腫瘍、鎮痛、神経保護作用、などの他、
アクテオシドのアルツハイマーやパーキンソン病など認知症への *in vivo* 効果も報告され、
アクテオシドを含有する、薬用植物や、胡麻若葉のさらなる可能性に期待が寄せられています。

- Antioxidant (抗酸化作用)
- Anti-inflammatory (抗炎症作用)
- Antineoplastic properties (抗腫瘍特性)
- Numerous wound healing (創傷治療作用)
- Neuroprotective properties (神経保護作用)

Dementia Japan

日本認知症学会誌

VOL. 33 NO. 4 OCTOBER 2019

2019 認知症研究の最新動向と今後の展望

編集 藤田 隆雄 編集委員 藤田 隆雄 藤田 隆雄 藤田 隆雄
発行 日本認知症学会 発行所 日本認知症学会 発行所 日本認知症学会
〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1 日本認知症学会 100-0001

参考資料: 1) 食品分析開発センター SANA TEC. フェニルエタノイド配糖体の魅力と薬ゴマ葉からのフェニルエタノイド配糖体の抽出と作用機序 生物資源科学部 食品生化学科 教授 松藤 真
: 植物由来ポリフェノール化合物による神経細胞保護作用. 薬学雑誌, 日本認知症学会誌, 33, 104 (10), 2019
: 西辺純, 橋岡啓一, 岡々江浩太, 有賀敏明, 戸邊光一郎, アクテオシドの生物活性
http://www.stokkyu.com/2011/07/11/20110711_01.html (2011.07.11)
: Fuji, Y., Uchida, A., Fukuhori, K., Chino, M., Matsufuji, H. *PLoS One*, 13 (3): e019449 (2018)
: Ishiyama, K., Kuroki, T., Ohtani, H., Georgiev, L., Yoshizawa, T. *Journal of Agricultural and Food Chemistry*, 2014, 62(26): 1066-1076